

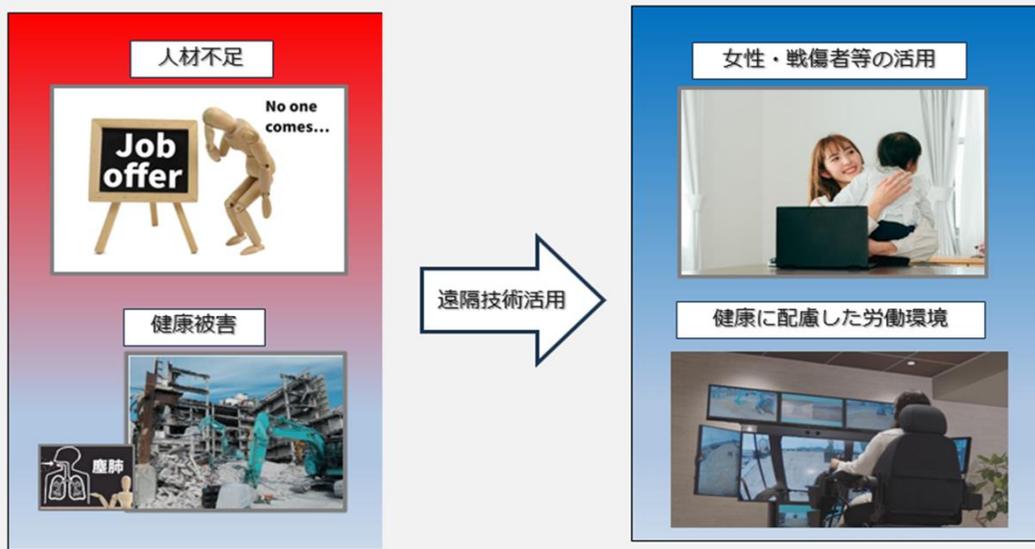
ウクライナ復興における人的資源活用プロジェクト

～遠隔施工の導入・普及を通じて～

- 日本では人手不足・安全確保に対応した建設現場での遠隔施工が開発され、災害復旧等での運用経験が豊富。
- ウクライナでは、今後膨大な建設需要が見込まれる一方、人手不足が深刻であり、男女問わず誰もが安全に建設作業に参画できるようにすることが求められている。
- 日本発の遠隔施工の導入による人的資源活用ビジネスモデルを構築し、ウクライナ復興の推進に貢献する。

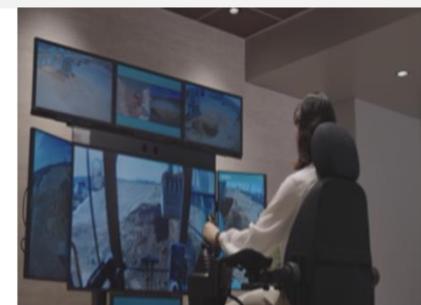
誰もが参加できるウクライナ復興事業

女性・戦傷者等の雇用機会創出により、
ウクライナ復興の推進に貢献



【遠隔施工】

- 日本では雲仙普賢岳復旧工事を皮切りに、30年以上前から危険箇所での施工で利用。
- 危険な現場での作業を、安全な場所から実施可能
- DXによりインターネット回線を経由した超遠隔操作へ進化



今後の予定

- ウクライナ国内での実証実験を実施し、関係機関へのデモンストレーションするとともに、課題等を抽出。
- 復旧・復興工事への要件化等に向けて、関係機関への働きかけを実施。
- まずは、侵略により破壊された施設の瓦礫処理への導入を目指す。